

深谷から世界へ!!

深谷市出身・高桑早生選手
リオデジャネイロ・パラリンピック出場



走り幅跳び、100m、
200mの3種目でパラ
五輪出場

深谷市出身の高桑選手は、上柴
東小学校、上柴中学校、東京成徳
大学深谷高校の卒業生です。
高桑選手は、高校時代に陸上競
技を本格的に始め、これまで多く
の国際大会で結果を残していま
す。リオデジャネイロ・パラリン
ピックでは、その成績が評価され、
走り幅跳び、100m、200m
の3種目に出場します。

深谷からリオへ声援を

高桑選手は、平成27年1月号の
広報かかやの新春座談会の中で、
パラスポーツ（障害者スポーツ）
について、「まず、知ってもらわ
ないと理解が進みません。誰もが
どんな形でもいいから、ふっと見

深谷市出身で深谷市親善大使
の高桑早生選手が、走り幅跳
び・100m・200mの3種
目でリオデジャネイロ・パラ
リンピックへ出場します。
今回は、ロンドン大会に続け
て2大会連続の出場です。

「ああこんなものもあるんだな」と
思えるムーブメントがあれば良
いですね」と話しています。

障害者スポーツの祭典であるパ
ラリンピックは、トップのパラス
ポーツを見る絶好の機会です。リ
オデジャネイロ・パラリンピック
は9月7日（水）18日（日）に開催され
ます。深谷市出身の高桑選手に、
大きな声援を送りましょう！

女子走り幅跳び（T44）

決勝は9月9日（金）（日本時間）

放送局・番組 NHK総合『パラリン
ピックタイム』陸上・決勝『女子
走り幅跳びT44』午後10時45分
～11時55分

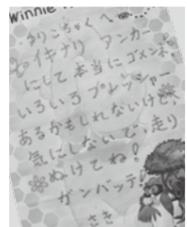
※他の出場競技については、現在放
送内容が確定していません。

特集 深谷から世界へ



小・中学校の同級生
川本保育園保育士
小林由里子さん

が代役となった私を氣遣ってくれ
た手紙は今でも手元にあります。
大会では、いつも通り自然体で
がんばって欲しいです。



▲高桑選手が小林さ
んに送った手紙

小・中学校の同級生にインタビュー
いつも通りの
自然体でがんばって

早生ちゃんは、子どもの時から
運動神経が良くて、負けず嫌いな
ところがあったので、今の活躍が
りは、驚きもありますが『やっば
りな』という気持ちが強いですね。
特に思い出に残っているのは、
小学生のときの市内全小学校対抗
の運動会です。早生ちゃんは、リ
レーのアンカーを任されていたの
ですが、左足の痛みで急ぎよ私が
代わりに
走りまし
た。その
時に、早
生ちゃん

高校時代の陸上部顧問にインタビュー
自己ベストの
パフォーマンスを

東京成徳大学深谷高校では、陸
上部の仲間にも恵まれ、日頃から
切磋琢磨して競技に打ち込むこと
ができていたようです。そんな姿
に、当時の部員も良い刺激を受け
ていました。また、運動だけでは
なく、勉強もおろそかにしておら
ず、まさに文武両道を表現したよ
うな生徒でした。

陸上競技では、いかに本番で自
分の最高のパフォーマンスを發揮
し、記録を出せるかが大切です。
パラリンピックという最高の舞台
で自己ベストを出すことを期待し
ています。

そして、次は4年後の東京パラ
リンピックを目指し、新しい目標
を持って頑張ってください。その
時は会場で応援したいですね。



東京成徳大学深谷高校
陸上部顧問
江原良則さん



高桑選手から皆さんへ リオパラ五輪に向けたメッセージ

「深谷市の皆さん、いつも応援ありがと
うございます。この応援をパワーにして、
リオでは自分なりにしっかりと結果を出
し、いい報告ができるように一生懸命頑張
りますので、応援よろしくお願いします。」

スポーツを楽しみ、愛する雰囲気づくり

3年後の2019年にはラグビーワールドカップ、4年後の2020年には東京オリンピックとこれから日本では大きなスポーツイベントがめじろ押しです。スポーツが盛んな深谷では、子どもたちが、いろいろなスポーツに触れ生涯にわたってスポーツを楽しめるまちを目指しています。

『参加』が育てる深谷のスポーツ

深谷市教育委員会の取り組みについて担当者に伺いました



生涯学習スポーツ振興課 里見篤司係長

2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京五輪と大きなスポーツイベントを控えています。こうしたイベントが開催されたとき、「スポーツをしないから関係ない、興味がない」というのではなく、市民全体がスポーツを楽しみ、愛する空気を持つような雰囲気づくりをしたいと考えています。そのためには、みんなが『参加』することが必要です。実際にスポーツをしなくても、『応援』という形で関わるのもひとつの『参加』の形です。『競技



▲平成27年12月19日に開催されたふかやジュニアスポーツフェスティバルで行われた『走り方教室』の様子。今年はビッグタートルを会場に大きな規模で開催します(5ページ参照)

スポーツ』、『趣味としてのスポーツ』、『観戦、応援するものとしてのスポーツ』など、スポーツへの関わり方は千差万別ですが、市民の皆さんには、どんな関わり方でもいいので積極的に、『参加』して欲しいと思います。深谷市では、たくさんのかたがいろいろな方面から関心を持っていろいろな催しや講習会を行っています。3年後、4年後の大イベントに向け、多くの人にスポーツをより身近に感じてもらえるようにしたいですね。

成功体験の積み重ねが鍵 スポーツと地域づくり

私は、社会教育指導員として市内の小・中学校で体育の授業補助にも携わっています。この活動では、子どもたちへの指導に加え、先生にも指導法を伝え、普段の授業に生かせるよう心掛けています。指導法を工夫することで、運動が苦手な子どもも、自分のできる範囲で成功体験をすることができ、こうした体験の積み重ねが、これからは深谷市で力のあるアスリートを育て、誰もがスポーツを楽しむ地域づくりにつながっていくと思います。



深谷市社会教育指導員 松島 猛さん

『社会教育指導員』は公民館で行われている活動や教育活動全般を支援するほか、家庭での教育をアドバイスする保護者向けの『親の学習』などを行っています。深谷市は2名配置しています。

『ホンモノ』に触れる 貴重な体験

子どもたちの『力』を伸ばす

深谷アスリートクラブ事業

『深谷アスリートクラブ事業』は、学校現場にスポーツに精通した指導者を派遣して体育の授業のレベルアップを図るとともに、市内のスポーツ活動団体を支援しています。

子どもたちが、第一線で活躍する選手や指導者に会える、まさに、『ホンモノ』に触れることができる事業です。

今年で2年目になるこの事業



▲深谷アスリートクラブ事業の様子。さまざまな競技でプロ選手や実業団の選手に直接指導を受ける機会が生まれています

みんながスポーツに 取り組める環境を

みんながスタートラインに

の中で、実際に子どもたちは専門の指導者の指導を受け、「50m走のタイムが早くなった」、「水泳の泳ぎ方のコツを教わって、上達した」といった声があがっています。この事業の目的は、子どもたちがスポーツをしやすい『環境づくり』。子どもたちが、将来、オリンピックを目指するなど競技スポーツで活躍したり、生涯の楽しみとしてスポーツに関わることができると目指しています。

ふっかちゃん子ども福祉基金

平成24年に設置された、『ふっかちゃん子ども福祉基金』では、市が行う事業で、次代を担う子どもたちの健やかな成長のための事業などに活用しています。

平成25年12月からは、障害児スポーツ補装具を、平成28年度からは用具や消耗品も対象として購入費助成を行い、障害のある子どもたちも気軽にスポーツを始められるような取り組みを行っています。



▲スポーツ補装具の一例。スポーツ補装具は高額なものも少なくありません。ふっかちゃん子ども福祉基金では、助成を行い、障害のある子どもたちがスポーツをしやすい環境づくりをしています

今、どんなスポーツをしようか迷っていませんか？

スポーツフェスティバル

市内のスポーツ少年団やクラブチームが集まり、その場で体験できます。気になるスポーツをたくさん『お試し体験』することができる初めての試みです。

とき 12月10日(土)

ところ 深谷ビッグタートル

問い合わせ 生涯学習スポーツ振興課

(☎ 572 - 9581)

まちぐるみでスポーツを応援 事業者の立場でできる応援

今、仲間内で、スポーツで頑張る人を応援する仕組みを考えています。例えば、市内外の学生が合宿に来た時、ワンストップで宿泊や食事などの手配ができる仕組みがあれば、というアイデアも出ています。仕事柄、スポーツ大会を通して選手や関係者と出会い、関わることも多いためそうした思いを抱くようになりました。

行政だけではなく、事業者として応援できることもたくさんあると思います。さまざまなスポーツシーンで、深谷市に集客し、地域経済の活性化や市のPRにつながる取り組みをしたいですね。まだ夢のような話ですが、深谷でがんばる子どもたちのためにもいつか実現させたいです。



市内でスポーツ用品店を営む 吉岡昌之さん